

# 第1号議案 2020年度 事業報告書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

## I 事業期間

2020年（令和2年）4月1日 ～ 2021年（令和3年）3月31日

## II 事業の成果

設立19年目として、ISO9001、ISO14001、ISO27001への対応、支援活動を中心に展開してきたが、新型コロナウイルスの拡大に伴い、セミナー事業は全て中止となる中、監査事業が唯一実施できた。コロナの影響もあり新規の会員、賛助会員の拡大は進まなかった。企業研修や1昨年度実現した滋賀県環境保全協会との連携研修は、コロナ禍の状況もあり、自粛傾向が続き連携ができなかったが、緊密な連携は続いている。中止となった無料研修会も参加申し込みはあり、ISO有効活用センターの認識と知名度は維持されている。

組織運営に関して定例理事会は、コロナ禍の感染防止からメール連絡と委任状による参加により最小人数で実施し、WEB会議形式も取り入れて実施した。

## III 事業の実施状況

### 1 特定非営利活動に係る事業

#### (1) セミナー事業

コロナ禍の影響もあり実施できなかった。

#### (2) コンサル事業

・無料相談

【内 容】構築・運用の無料相談

【実施場所】コロナ禍の状況により、実現はしなかった。

・企業支援

【内 容】構築・運用コンサル

【実施場所】新規のコンサル指導等は実現しなかった。

#### (3) ISO 監査事業

##### 1) 【内 容】第三者による内部監査代行（ISO14001、ISO9001）

【実施場所】滋賀県の精油プラント会社で環境と品質の統合監査の代行をした。  
横浜の化粧品関係会社の自己宣言監査チェックを実施した。

##### 2) 【内 容】自己宣言型 ISO の認定及び認定更新

【実施場所】新規格移行後の自己宣言型運用の検証監査は無かった。

## IV 社員総会の開催状況

2020年度総会は、2020年5月30日（土）に長岡京市バンビオ1番6F会議室2で開催。コロナ禍での感染防止対策に留意して書面表決も含め18名（正会員21名の内）が参加し（委任状6名）、2019年度事業報告書、事業活動計算書、財産目録、貸借対照表の承認事項を承認した。また、2020年度の事業計画書、予算書案について議論し、承認をした。

V 理事会その他の役員会の開催状況

理事会は、2ヶ月に1度の開催となり、偶数月の適当な曜日を理事会時に打ち合わせにより定めて、以下の日程で実施した。

2020年度

第1回	2020.04.25(金)	17:00~18:00	長岡京市バンビオ1番館	MR1
第2回	2020.06.27(土)	17:00~18:30	長岡京市バンビオ1番館	会議室1
第3回	2020.08.29(土)	17:30~19:00	長岡京市バンビオ1番館	MR1
第4回	2020.10.24(土)	17:00~19:30	長岡京市バンビオ1番館	MR2
第5回	2020.12.19(土)	17:00~18:30	長岡京市バンビオ1番館	配膳試食室
第6回	2021.02.27(土)	20:00~21:30	WEB会議	

## 第2号議案 2020年度 特定非営利活動に係る事業活動計算書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

2020年4月 1日 から 2021年 3月31日 (単位 円)

科 目	決算	今年度予算	差違	備考
<b>I 経常収益</b>				
<b>1 入会金</b>				
正会員入会金収入	0	50,000	-50,000	入会者なし
賛助会員入会金収入	0	60,000	-60,000	入会者なし
<b>2 寄付金</b>				
会員寄付	0	0	0	
その他寄付	0	0	0	
<b>3 事業収益</b>				
セミナー事業	0	200,000	-200,000	
コンサル事業		0	0	
監 査事業	233,060	450,000	-216,940	堀川化成統合内部監査監査代行2日間
<b>4 その他収益</b>				
受取利息	7	0		銀行利息
雑収入				
当期経常収益 合計(A)	233,067	760,000	-526,933	
<b>II 経常費用</b>				
<b>1 事業費</b>				
(1)人件費	130,000	400,000	-270,000	監査代行講師(金7万円、堀田5万円)、自己宣言監査チェック(中野1万円)
(2)その他経費				
会議費	4,380	50,000	-45,620	会議室代(2回予定し中止、キャンセル)
旅費交通費	15,260	70,000	-54,740	監査講師交通費
広報費	19,880	50,000	-30,120	さくらレンタルサーバー料、HP更新料
印刷費	0	10,000	-10,000	
事務費	1,298	20,000	-18,702	研修用マウス、フェイスシールド代
通信費	1,000	10,000	-9,000	レターパック、切手代
支払手数料等	990	5,000	-4,010	振込手数料、印紙代等含む
その他経費 計	42,808	215,000	-172,192	
事業費 計	172,808	615,000	-442,192	
<b>2 管理費</b>				
(1)人件費	0	0	0	事務アルバイト費等
(2)その他経費				
会議費	1,560	15,000	-13,440	12月理事会会場費 1560 円
旅費交通費	15,050	40,000	-24,950	理事会、手続き交通費(若井、竹内、西田)
印刷費		5,000	-5,000	
事務費		5,000	-5,000	
通信費		5,000	-5,000	
支払手数料	110	5,000	-4,890	引き出し手数料
その他経費 計	16,720	75,000		
(3) 予備費	0	70,000	-70,000	
管理費 計	16,720	145,000	-128,280	
当期経常費用 合計(B)	189,528	760,000	-570,472	
当期経常増減額(A) - (B) = (E)	43,539	0		
<b>III 経常外収益</b>				
固定資産売却益等				
経常外収益 合計(C)		0		
<b>IV 経常外費用</b>				
固定資産売却損等				
経常外費用 合計(D)		0		
当期経常増減額(E) + (C) - (D)	43,539	0		
前期繰越正味財産額	716,029	716,029		
次期繰越正味財産額	759,568	716,029		

## 2020年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

2021年 3月 31日現在

(単位 円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金		
普通預金	759,568	
未収金	0	
流動資産合計		759,568
2 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		759,568
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	0	
預り金	0	
流動負債合計		0
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
3 正味財産の部		
前期正味財産		716,029
当期正味財産増加額		43,539
正味財産合計		759,568
負債及び正味財産合計		759,568

## 2020年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

2021年 3月 31日現在

(単位 円)

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
<b>1 流動資産</b>		
現金預金		
現金		
普通預金 UFJ銀行	759,568	
未収金	0	
流動資産合計		759,568
<b>2 固定資産</b>		
固定資産合計		0
資産合計		759,568
<b>II 負債の部</b>		
<b>1 流動負債</b>		
未払金	0	
預り金	0	
流動負債合計		0
<b>2 固定負債</b>		
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産		759,568

# 第3号議案 2021年度事業計画書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

## I 事業の実施方針

- ・ 2021年度は、コロナ禍での活動に留意して、ISO14001、ISO9001、ISO27001の運用を確実にする支援が求められる。特に、今後の運用や監査に関してより有効性が評価されることから、内部監査員のスキルアップの事業を推進することを目指す。
- ・ 事業活動としては、コロナ禍での自粛や3蜜を避けた行動に留意して、セミナーやコンサルに力を集中し、同時に自己宣言型ISOの検証監査を拡大普及する。
- ・ 滋賀県環境保全協会と連携し、滋賀県での運用支援を強化する。内部監査員の新規格スキルアップ研修会の実施、自己宣言型ISOの検証やISOのスリム化、有効活用による効果の向上を目指す。
- ・ また、ISO関連分野として、SDGsやエネルギーマネジメントシステムの普及、省エネ活動、節電事業や災害対応等の事業継続MSに注力して普及を図る。
- ・ 今後の事業展開を見据えて、企業担当者、事務局支援の情報交流会や広報的な情報提供により、企業との結び付きと協力関係を強化する。

## II 事業の実施に関する事項

### 1 特定非営利活動に係る事業

#### (1) セミナー事業

【内 容】ISOの運用セミナー、内部監査員養成セミナー（1日コース）

【実施日時】随時実施予定（概ね有料2回 無料6回）

【事業の対象者】ISO取得済企業のISO担当者、ISOの構築に興味のある方

【収 入】20万円（10000円×10人×2回）

【支 出】講師料14万円（有料8万円 無料6万円） 交通費2万円

印刷費1万円 会議費3万円 計20万円

なお、滋賀県環境保全協会主催のセミナーへは、講師派遣とテキストの提供で協力、連携する。

#### (2) コンサル事業

- ・ 無料ISO相談、無料省エネ診断等

【内 容】移行・運用の無料相談

【実施場所】電話相談、企業先訪問

【事業の対象者、方法】新規格移行の組織、団体：電話、メール相談

【収 入】0円

【支 出】交通費2万円

ISO相談、省エネ相談は、無料とし、省エネ診断等の交通費は、相談企業の実費負担とする。

- ・ 企業支援

【内 容】ISOコンサル（移行更新、スリム化、有効活用）

【実施場所】要支援希望団体

【実施日時】適時

【事業の対象者】ネットによる要請を受けた希望団体

【収 入】0円

【支 出】0円 コンサル事業は、原則会員に紹介し、会員個人の責任で実施

(3) ISO 監査事業

【内 容】 第三者による自己宣言型 I S O 認定は 1 社目標、内部監査及び内部監査の代行は、3 社

【実施場所】 要構築希望団体

【実施日時】 適時

【事業の対象者】 要内部監査希望団体

【収 入】 10 万円 (1 日/回) × 4 社 = 40 万円 (内部監査 3 社、自己宣言 1 社)  
認定書発行費用 5 万円 × 1 社 = 5 万円

合計 45 万円

【支 出】 講師料 1 社 6 万円 (1 日/回) × 4 社 = 24 万円

成約謝金 2 万円 (新規、広報費) 会議費 1 万円 交通費 2 万円

事務費 2 万円 通信費 1 万円

認定維持内部監査チェック人件費 1 万 × 2 社 = 2 万円

合計 34 万円

(4) 情報発信・広報事業

【内 容】 HP を更新し、情報発信に努める。メールによる内部監査代行の宣伝  
自己宣言型認定監査の普及、ISO 改訂情報を P R

【収 入】 0 円

【支 出】 5 万円 (レンタルサーバー使用料等 1 万円 HP 更新メンテ費 2 万円、  
その他謝金 2 万円)、会議費 1 万円 交通費 1 万円、交流会コ  
ーディネーター講師料 (3 回) 3 万円

第4号議案 2021年度 特定非営利活動に係る事業活動予算書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

2021年 4月 1日から 2022年 3月31日 (単位 円)

科 目	予算	前年度予算	差違	備考
<b>I 経常収益</b>				
1 入会金				
正会員入会金収入	50,000	50,000	0	5人見込み
賛助会員入会金収入	60,000	60,000	0	3社見込み
2 寄付金				
会員寄付	0	0	0	
その他寄付	0	0	0	
3 事業収益				
セミナー事業	200,000	200,000	0	2回予定、20人見込み
コンサル事業	0	0	0	0 会員に委託
監 査事業	450,000	450,000	0	0 4社見込み
4 その他収益				
受取利息	0	0	0	
当期経常収益 合計(A)	760,000	760,000	0	
<b>II 経常費用</b>				
1 事業費				
(1)人件費	430,000	400,000	30,000	セミナー・監査講師料、 交流会講師料
(2)その他経費				
会議費	50,000	50,000	0	
旅費交通費	70,000	70,000	0	0 営業旅費を含む
広報費	50,000	50,000	0	0 レンタルサーバー料等 HP更新メンテ費料 成約謝金(2万円)
印刷費	10,000	10,000	0	
事務費	20,000	20,000	0	
通信費	10,000	10,000	0	
支払手数料等	5,000	5,000	0	0 印紙代含む
その他経費 計	215,000	215,000	0	
事業費 計	645,000	615,000	30,000	
2 管理費				
(1)人件費	0	0	0	0 事務アルバイト費等
(2)その他経費				
会議費	15,000	15,000	0	0 会場費、お茶代等
旅費交通費	40,000	40,000	0	0 理事会交通費
印刷費	5,000	5,000	0	0 総会等資料コピー代
事務費	5,000	5,000	0	0 事務用品、封筒
通信費	5,000	5,000	0	
支払手数料等	5,000	5,000	0	
その他経費 計	75,000	75,000	0	
(3) 予備費	40,000	70,000	-30,000	交流会人件費に充当
管理費 計	115,000	145,000	-30,000	
当期経常費用 合計(B)	760,000	760,000	0	
当期経常増減額(A) - (B) = (E)	0	0	0	
<b>III 経常外収益</b>				
固定資産売却益等				
経常外収益 合計(C)	0			
<b>IV 経常外費用</b>				
固定資産売却損等				
経常外費用 合計(D)	0			
当期経常増減額(E) + (C) - (D)	0	0		
前期繰越正味財産額	759,568	716,029		
次期繰越正味財産額	759,568	716,029		